様式	. 2	-	1	

2025 年 4月 30日

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

	事業所名	株式会社LSエンジェリック
住 所 岐阜市薮田南1-11-9		岐阜市薮田南1-11-9
	電話番号	058-277-5115

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		40
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	0	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		点

(Ⅱ)生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の 各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利 用者に支払う賃金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上		20
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産 活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以 上	0	
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の 各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利 用者に支払う賃金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用 者に支払う賃金の総額未満		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤	-10点	⑥-20点

(皿) 多様な働き方(※)		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	0	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	0	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	0	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	0	15
⑤短時間勤務に係る労働条件		19
就業規則等で定めている	0	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	0	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	0	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	0	
小計(注1)	8	点

	(※)	8項目の合計点に応じた点数	(注1)	5以上:15点、	4~3:5点、	2点以下:0点	
--	-----	---------------	------	----------	---------	---------	--

事業所番号	2110101355
管理者名	小坂井 雅次
対象年度	R6年(2024)

(IV) 支援力向上(※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	0	
②研修、学会等又は学会誌等において発表	•	
1回以上の場合	0	
③視察・実習の実施又は受け入れ	•	
いずれか一方のみの取組を行っている	0	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	0	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する 制度を設け、全ての職員に周知している	0	15
<u>⑥ピアサポーターの配置</u>		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を 受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	•	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた 規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計 (注2)	5	点
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2	点以下:	0点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2	点以下:	0点		
(V) 地域連携活動				
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官 公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その 結果をインターネット等により公表している	0	10		

_____ 1事例以上ある場合:10点

(VI)経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善 計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出 している。	0	0 点
期限内に提出して	いない場	合:-50点

(Ⅶ)利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識 及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内 容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他 の方法により公表している。	0	10 点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計		
110	点	╱200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(実績I~Ⅳ、Ⅵ)

机力	/\ =			•	10 \$ 01/	
(I) 労働時間						
前年度(6年度)						
雇用契約を締結していた全て の利用者における延べ労働時 17,303 間	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4, 044		利用者の1日の 平均労働時間数 4	時間
		/ 〒 〉 井 本				
会計期間 (月~月)		(Ⅱ)生産	活 劅			
前々々年度(4 年度)	_			_		
生産活動収入から経 費を除いた額 13,000,438	一円	利用者に支払った賃金総額	13, 629, 750	円	収支 -629, 312	
前々年度(5年度)						
生産活動収入から経費を除いた額 14,809,576	円	利用者に支払った賃 金総額	14, 797, 175	円	収支 12, 401	円
前年度 (6 年度) 生産活動収入から経 費を除いた額 12,996,554		利用者に支払った賃金総額	15, 422, 303	7,	収支 -2, 425, 749	
		(皿)多様な	働き方			
前年度(6年度)における取組(<u>全体表「(皿)多</u>	揺か働 キー	ち」の冬項日において「討	業相則等で完めている。	·選扣! +	> 場合に記載)	
	水の側でん	1. 小石垣口にのいて「別	i未が則守でたのしいる」 δ	歴150/	<u>- 物 口 ! ~ 配 概</u> /	
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		用者を職員として登			宅勤務に係る労働条件及び服務規	律
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨		用者を職員として登月 - ハス	用する制度を //		勤務に係る労働条件及び服務規律	
に関する制度を定めている	定めて	. いる		一一	する制度を定めている	
-						
④フレックスタイム制に係る労働条件		寺間勤務に係る労働:			差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を 定めている ☑		寺間勤務に係る労働st ている	条件を ▽		差出勤制度に係る労働条件を ている	-
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	8傷#	病休暇等の取得に関	する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度		病休暇等の取得に関す ない。	する事項を			
を定めている	定めて	にいる				
		(Ⅳ) 支援	力向上			
前年度 (6年度) における取組 (全体表「(N))	支援力向	Fi の冬頃日に取組あり	選択とした場合に記載)			
的一块(0一块)100017-04X地(<u>主体农;(II)</u>	X1&7111	工」の台東日に採組のり				
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		多、学会等又は学会			察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している ◎外部研修、もしくは内部研修を		多、学会等又は学会詞 ☑以上発表している	は寺において		的事業者の視察・実習の実施している は、他の事業所の視察・実習を受け入れて	<u></u>
1回以上実施している。			連携研修	L	的事業者名	
	実施		13 日		E 日	
※研修名 賃金向上のための手法研修会		·誌等名 日] 日)事業所名: (株)モトスマッシュ 日/参加者数 5月20日	3 人
研修講師 JAぎふ 中村様 実施日・受講者数 7月 5日 4人	掲載	テーマ	3H	天心	i日/参加者数 5月20日	-3
				_		
④販路拡大の商談会等への参加◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上		員の人事評価制度 員の人事評価制度を	整備している 🗸		アサポーターの配置 アサポーターを配置している	
参加している。		3の人事計価制度を3 亥人事評価制度を周9			,,,小一メーを配置している 该ピアサポーターは「障害者ピアサポートモ	 开修 」
※商談会等名 農福連携関係部主催ふれあい会	人事	平価制度の制定 令和	5年11月1日		受講している	
館商談会		平価制度の対象職員数			型期間 月日~月日 **********************************	
主催者名 農福連携関係部 11月 15日	つろ	昇給・昇格を行ったす 人事評価制度の周知フ	者 2名 方法 社内伝達通知		等時間 勝内容	
内容 自社製品の商談・アピール		、子口 医吸收及 27月 47	J. A. T. J. M. E. W. M.	19,17	21.4 H	
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に		景標準化規格が定め S O が制定したマネミ				
□ 間平度末日から過去る平成内に 福祉サービス第三者評価を受けている □		ららが制定したマネ: 各等の認証等を受ける	·····			
==						
※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関		を受けた日 月 等の内容	日			
(14/ 作員以百川間						
◎指定権者である都道府県(指定都市・中核市)へ、						
経営改善計画書へ提出した。 						
※受理日 年 月 日						

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	株式会社LSエンジェリック
住 所	岐阜市薮田南1丁目11番9号
電話番号	058-277-5115

事業所番号	2110101355	
管理者名	小坂井 雅次	
対象年度	令和6年度	

地域連携活動の概要

<活動内容>

活動場所

【施設外就労先】株式会社LSふぁーむ(瑞穂市宝江)

実施日程

诵年

実施した生産活動・施設外就労の概要

水耕栽培(ハウス)・田んぼ・地域圃場

利用者数 等 常時14~20人

<目的>

地域連携活動のねらい

農福連携を通じて、生きがいと自信を持ち、障害と向き合い 社会と交わっていきたい

地域にとってのメリット 新たな農業の担い手を育成できる 対象者にとってのメリット 地域と繋がり関わり方を学び、自信 をつけることができる

<成果>

実施した結果 地域の方々と関わりと仕事に取り組むことで一人 一人が役割を持ち自信につながった

<mark>得られた成果</mark>自分の仕事に誇りを持ち責任をもって仕事をし、 周囲から頼られる存在となった

課題点 障害者の可能性を高めていくサポートが大切であ

<活動の様子>

収穫→





←袋詰め

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

農福連携により、人手不足が解消され荒廃した畑に米糠やもみ殻を畑に使い土づくりをすることで、無農薬野菜の生産性向上に繋がった。農作業では、適期に作業性が多い仕事を分担作業としたことで効率が向上し、収益向上となった。

今後の連携強化に向けた課題

る

職員が障害の知識をつけ、ひとりひとりの個性を理解したうえでその方に合った作業をお願いしたい。

連携先企業名	株式会社LSふぁーむ	担当者名	高木
--------	------------	------	----